

## 国際会議から 第9回鉄道台車と走り装置に関する国際会議

本国際会議は、ハンガリーのブダペスト工科経済大学主催で3年に1度ブダペストで開催される鉄道車両の台車に関する会議です。今回の発表件名は口頭発表が41件、ポスターセッションが5件で、27ヶ国から80名以上が参加し、日本からは鉄道総研2名を含めて9名が参加しました。



梅原康宏  
車両構造技術研究部  
走り装置研究室  
副主任研究員



発表会場の様子



ブダペスト地下鉄1号線

台車についてさまざまな分野の発表を1箇所の会場で行う形式であり、発表中は英語、ドイツ語、ハンガリー語の同時通訳を聴くことができました。筆者はフェールセーフ機能を備えた操舵台車向けアクチュエーターについて発表を行いました。その他の発表として、独立回転車輪台車のアクティブ操舵制御やFRPを側はりに使用した貨車用台車の開発などが紹介され、海外の台車開発状況について知ることができ、とても有益な機会となりました。

ブダペスト市内は地下鉄、トラムなど公共交通機関が整備されており、市内移動はとても快適でした。ちなみに地下鉄1号線は世界初の電気運転方式の地下鉄で、世界遺産にも登録されています。

正式名称：9th International Conference on Railway Bogies and Running gears  
開催国：ハンガリー(ブダペスト)  
期間：2013/9/9～12  
主催：ブダペスト工科経済大学  
開催頻度：1回/3年  
次回開催予定：2016年9月 ハンガリー  
ホームページURL：<http://www.railveh.bme.hu/bogie13/eng/>